

校長室だより

国上市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年9月2日 NO.16

5年生野外体験教室速報・・・その2



その後、子供達が最も楽しみにしていた魚釣り体験へと皆で移動。川俣川に糸を垂らした瞬間から入れ口状態。一人で5匹もゲットした釣り天狗も登場。皆で仲良く助け合い、釣りに夢中になり時間もあっという間に過ぎていきました。釣った後は、ぬるぬるする魚をさばき、はらわたを取り、塩をふり、焼きに入りました。1匹の魚も残すこともなくここでも完食。きれいに食べる5年生にまたまた感心しました。漁協組合の方から、ニジマスについてのお話や、生き物の命を頂くことの意味や、命を大切にすること。さらに皆で力を合わせる事の素晴らしさもお話ししてもらいました。

宿舎に戻り、夕食後は楽しくキャンプファイヤーと思いきや、山の天気は変わりやすく無情の雨。しかし、そこは何事も前向きに考える5年生。体育館でのキャンドルサービスに切り替えて準備万端。皆で心を合わせ楽しい劇やゲームや踊りで大変な盛り上がり。ランニングマンまで出現し、子ども達の一人一人の笑顔が弾け輝いた楽しい集いとなりました。またまたステキな思い出作りができ、夜も熱を出す子もなく皆良い子で静かに就寝・・・。

28日は滝沢牧場へ出発。牧場のプロデューサー兼インストラクターのはまちゃんより、とても丁寧な事前説明の後、いざ！乳しぼり・餌やり・バター作りへと。雌牛3歳で750kgの巨体のこのみちゃんの乳しぼりの前に、その日に生まれて数時間しか経っていない子牛に近寄り接することができました。どの子も、生き物に対しての温かな眼差しを向けていました。乳しぼり体験では、一人一人緊張しながらも乳の出る様子にびっくり感動の様子。餌やりでは、牛タンにペロリとなめられ驚き、キャーキャーワーワー！と大喜びする子ども達。バター作りでは、皆で滝沢牧場のしぼりたてのボトル入り牛乳を、シャカシャカと根性入れて振り続け、その結果どの班でもたくさんのバターができ、美味しく召し上がることができ、皆の満足な顔・顔・顔。はまちゃんより、人間は、命あるものを頂き、自らの生命を保つことができるというお話も聞くことができ、様々な生き物に感謝すべきであること、さらに、日本の酪農事情についての様々な課題があることなど、たくさん学ぶことができました。昼食後には、牧歌的な広場にてとび跳ねたり、アスレチックで遊んだりしました。

「楽しく仲良く元気よく！」無事故で元気な笑顔で帰ってきた5年生。決まりをよく守り、友達と助け合い、自分自身の健康管理もきちんとできた5年生。たくさんのことを学ぶことができた野外体験教室。この貴重な体験を、これからの2学期の学校生活でさらに生かしてほしいと思います。そして、立派な最高学年・6年生へと成長してくれることを心より願っています。